



オリーブ便り Olive News

2022.01.01

No. 451



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 門脇 則光

基本
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

年頭所感

香川大学医学部附属病院 病院長 門脇 則光



謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も何卒よろしくお願いいたします。

昨年も引き続き新型コロナウイルスの波状攻撃が日本中を襲い、その後終息に向かって規制が緩められましたが、新たな変異株(オミクロン株)が現れ、このご挨拶が掲載される頃には日本にも広がっているかもしれません。それほど状況が刻々と変わり予断を許さない状態が長く続いています。こうした中、香川県では各医療機関が協力して役割分担し、医療の必要なコロナ患者さんを受け入れてまいりました。当院も重点医療機関として、重症の患者さんや妊婦・小児の

患者さんを中心に積極的に受け入れ、地域での役割を果たしてきました。今後の新型コロナウイルス感染症の見通しを立てることは困難ですが、引き続き地域医療機関と協力しながら香川県民の皆様の命を支えてまいります。

一方で、コロナ以外の診療も滞りなく進めていきます。一昨年来問題になっているのが、コロナ禍による受診控えでがん検診の受診者まで減り、がんの早期発見が減っていることです。検診会場では感染対策も十分施されていますので、皆様には積極的に検診を受けていただき、がんやその他の病気の早期発見・早期治療に努めていただければ幸いです。当院では関連する各科があらゆるがんの治療に力を入れていますし、もちろんそれ以外のさまざまな病気の治療にも対応しています。また、救急医療の分野でも香川県の最後の砦として三次救急医療を担うとともに、今年は当院と香川県立中央病院が基地病院となってドクターヘリの運航を開始し県内全域をカバーします。病気になられた際は安心して当院にお任せ下さい。

日本では急速に高齢化が進み、医療や介護を必要とするご高齢の患者さんが増えています。それとともに医療のニーズも変化し、慢性疾患や複数の疾患を抱える方、手術だけでなくその後のリハビリテーションが必要になる方が増えています。この状況に限られた医療資源で対応するために、国では数年前から病床の機能を、早期の集中的な医療を要する高度急性期、それに準じた急性期、その後在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する回復期、そして長期にわたり療養が必要な慢性期の4機能に分ける地域医療構想を打ち出しています。当院は高度医療を行う大学病院として高度急性期医療を担っていますが、できるだけ多くの患者さんに適切な医療を提供するためには、回復期や慢性期を担う地域の医療機関や在宅医療・介護を担う介護施設と連携して役割分担を果たすことが重要になります。当院では今後も地域医療機関と協力してスムーズな役割分担を進め、患者さん、地域医療機関、そして当院の皆が喜びを分かち合える医療を進めていきたいと思っております。

今年も感染対策とワクチンで新型コロナウイルスとうまくつき合いながら、皆が新たな日常を取り戻し、老若男女がそれぞれの立場で明るい未来を描くことのできる、そうした年になることを願っています。皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

科長の横顔

ポリシー

医学・医療の進歩のスピードはすさまじく、次々と新たな検査方法や治療が開発されています。呼吸器分野では特に肺癌や新型コロナウイルス感染症に対する治療戦略が近年大きく変わりました。このような背景をふまえて、ポリシーというほどではありませんが、日々研鑽を積み、最新の医療をご提案できるよう努めています。また大学病院に勤めている身として、少しでも医療の進歩に役立つよう精進したいと思います。

診療科紹介

呼吸器内科では、進行肺癌、間質性肺疾患、肺感染症、およびアレルギー性肺疾患等、気管支や肺に関連した疾患を担当しています。大学病院の役割上、良性疾患については難治性の場合や低頻度疾患が主体となっています。進行肺癌においては癌細胞の遺伝子状態や分子マーカーを可能な限り詳細に調べ、患者さんそれぞれに最適と思われる治療をご提案するよう心がけています。

師長の横顔

座右の銘

大学3年の病院実習で、指導教員から「患者さんから信頼されたければ、まずは自分が患者さんを信頼しなさい」という言葉をいただきました。患者さんから信頼されることばかりを考えていた当時の自分にとっては、目から鱗の言葉でした。その後の病院実習を乗り越えて、看護師になり、現在に至るまで、患者さんとの関わりの中で大切にしています。

病棟紹介

南病棟6階は、呼吸器外科・呼吸器内科・抗加齢血管内科の病棟です。呼吸器疾患を中心として、診断初期から急性期、慢性期、終末期まで様々な病期の患者さんに対して、手術、放射線療法、がん薬物療法、緩和ケアなど幅広く看護を行っています。一人ひとりの患者さんが、疾患と共に在りながら自分らしく生きられるように、患者さんと看護の「力」を信じて、日々のケアを行っています。



香川大学医学部附属病院
呼吸器内科
診療科長 金地 伸拓



香川大学医学部附属病院
南病棟6階
看護師長 森 光代



呼吸器内科・南病棟6階 スタッフ

高齢化社会を迎えいまや2人に1人ががんにかかるという時代です。さまざまな臓器にがんは発生しますが、大腸がんはその中でも男女合わせて一番多く、1年間に約16万人が罹患して5万人の方が亡くなっています。それではなぜ大腸がんが増加したのでしょうか。ハワイに移民した日系人に大腸がんが多かったことから、欧米のような肉食中心で食物繊維の摂取量の少ない食生活などの環境因子と、もともと日本人は大腸がんになりやすい体質、すなわち遺伝因子が相まって発症を促進していると考えられます。

一方で、環境因子に関係なく遺伝因子が大きく関与する大腸がんがあります。例えば、父親が大腸がんにかかり、父親の兄弟姉妹にも大腸がんがいて、さらには父方の両親のどちらかが大腸がん、あるいは姪や甥にも大腸がん、このような家系があります。遺伝する大腸がんの典型例です。大腸がん以外に胃がんや女性の場合は子宮体がんや卵巣がんの方がいると「リンチ症候群」という遺伝性のがん家系であることが疑われます。がんを引き起こす原因となる遺伝子がわかっているので、その遺伝子を検査することで診断できるわけです。一生のうち何度も大腸がんになる可能性が高いので、定期的に大腸がん検診を受けて早期発見することで生命のリスクを軽減できます。

大腸や胃にポリープがたくさんある場合は「家族性大腸腺腫症」といわれる遺伝性疾患が疑われます。この疾患では、多数ある大腸ポリープが必ずがん化するのでがんができる前に予防的に大腸を全部切除する手術が行われます。このような遺伝性疾患は次の子供の世代に50%の確率で引き継がれます。子供たちに遺伝しているか心配になりますが、がんになるのは成人になってからですので、その段階で病気をよく理解して遺伝子の検査を受けることをお勧めします。検査は血液2ミリリットル程度で調べることができます。今のところ検査費用は全額自己負担になります。

自分も遺伝するのではないかと心配されている方は、気軽に本院の当科外来に相談に来てください。遺伝が疑われた場合は遺伝子の検査を施行することもできます。最後に、若い人で大腸がんや子宮体がん罹患し、家系に自分以外にがんの人がいない場合でも、本人が遺伝性のがんの最初の罹患者になっている可能性がありますので、その際も相談してください。

毎日新聞「四国健康ナビ」2020年12月8日掲載分

ケーブルTVで放送中

イキイキさぬき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

詳しくはこちら



1月のテーマ 「『まぶた』のたるみ、治せます — 眼瞼下垂(がんけんかすい)の話」
2月のテーマ 「そのコレステロール高値は本当に食事のせい?
～家庭でもできる家族性高コレステロール血症のチェック方法～」

クリスマスイルミネーションの飾り付けを行いました

香川大学医学部 医療支援課

来院される皆様の心の安らぎと新型コロナウイルス感染症退散の願いを込めて、病院外来診療棟内2か所にクリスマスツリー、病院玄関前の緑地スペースにイルミネーションの飾り付けを行いました。澄み切った冬の空気の中で美しく輝いていました。

(財)誠恵会様からご支援いただいております。



ゲーム症外来を開設しました

香川大学医学部附属病院 精神科神経科 三野 光志

現在、インターネットやゲームの急激な普及と市場の拡大とともに日常生活に対して支障をきたすような利用「ゲーム症」の危険性が注目されています。「ゲーム症」は近年、正式に疾病として分類されるようになり、体力の低下や睡眠障害のような身体的・精神的問題だけでなく経済面や対人関係など重要な領域に問題を生じる可能性のある行動様式です。

そんな社会的問題となりつつある「ゲーム症」に対して、令和3年5月から当院にてゲーム症外来を開設いたしました。本外来では香川県ネット・ゲーム依存症対策条例が施行されたことに伴い作成された「香川県ネット・ゲーム依存回復プログラム(i Swing)」を用いて診療を行っており、同時に集団療法やレクリエーションも取り入れながら未知の分野の多い本疾患の治療につなげたいと考えております。受診には御予約が必要で毎月第2、第4水曜日午後から1枠ずつでの診療を行っています。

臨床研究に関するご案内

香川大学医学部 倫理委員会委員長
香川大学医学部附属病院 治験審査委員会委員長
香川大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2022.2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
2/19 日	9:00~17:00	サンポート高松	日本ペインクリニック学会 第2回 中国・四国支部学術集会	麻酔・ ペインクリニック科	(087)891-2223

編集委員会 (50音順)

(2021年12月現在)

阿部(看護)、岡内(外来)、金西(副病院長)、亀田(病棟)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、仁尾(医療支援)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務)、和氣(医事) [委員長 門脇病院長]